

## 一般質問通告一覧表

日付	発言者順序 【質問方式】	発言の要旨
平成 28年 12月 7日 (水)	1 成田 智樹 【一問一答】	1 災害対策について 2 バリアフリー化の推進について
	2 吉波 伸治 【一問一答】	1 生駒市の学校・教育にかかる課題について
	3 竹内 ひろみ 【一問一答】	1 南地域のまちづくりについて
	4 下村 晴意 【一問一答】	1 食品ロス削減について 2 妊婦歯科検診について
8日 (木)	5 伊木 まり子 【一問一答】	1 災害時の医療救護体制の整備について 2 子どもたちの登下校時の安全の確保について
	6 恵比須 幹夫 【一問一答】	1 市関連施設の廃棄物管理について 2 がん対策について
	7 久保 秀徳 【一問一答】	1 運動部活動のあり方について
	8 塩見 牧子 【一問一答】	1 生駒山麓公園の指定管理業務等について
	9 樋口 清士 【一問一答】	1 生駒市における都市構造の見直しについて
9日 (金)	10 改正 大祐 【一問一答】	1 生駒市の歳入確保の取組について
	11 浜田 佳資 【一問一答】	1 高齢者施策の進め方について 2 家庭からの紙おむつごみについて 3 スズメバチの駆除に対する市の補助等について
	12 山田 耕三 【一問一答】	1 障がい・グレーゾーンにある子どもたちへの支援について 2 学校内での暑さ対策について
	13 沢田 かおる 【一問一答】	1 人に優しい生駒の施策について

平成28年11月25日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

成田 智樹



### 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月25日  
午前10時50分受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <input checked="" type="radio"/> 一般質問 <input type="radio"/> 一括質問方式 ・ <input checked="" type="radio"/> 一問一答方式 ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	災害対策について
2	バリアフリー化の推進について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	災害対策について
質疑・質問の要旨	
<p>今夏の台風・豪雨災害は、全国各地に甚大な被害をもたらしました。災害発生時には、災害対策基本法等に基づき、予防、応急、復旧・復興というあらゆる局面に応じて、国と地方公共団体の権限と責任が明確化されています。</p> <p>地域防災計画では、防災体制の確立、防災事業の促進、災害復旧の迅速適切化等を定めており、さらに、多様な災害発生に備え、地域防災マニュアルや避難所運営マニュアル等を整備することになっています。</p> <p>1 災害発生時における避難所運営について</p> <p>熊本地震や今夏の台風災害では、一部自治体の避難所運営において、自治体職員が過剰に手を取られたことにより、災害対応に支障をきたすケースがみられました。国や県との連携や対口支援の受け入れなど、自治体職員は特に初動期において多忙を極めますが、この間に職員が避難所運営に関し多くの労力を費やすことで、被災者救助をはじめ災害復旧に重大な影響を及ぼしかねません。本市の避難所運営について以下のとおり質問します。</p> <p>① 内閣府が公表している「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」（以下「指針」という。）には「市町村の避難所関係職員以外の者でも避難所を立ち上げることができるよう分かりやすい手引（マニュアル）の整備が必要である」となっている。本市では、この指針に基づく避難所運営マニュアルは作成・整備されているのか。</p> <p>② 内閣府公表の「避難所運営ガイドライン」には「避難所生活は住民が主体となって行うべきもの」となっているが、災害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているのか。とりわけ、初動期の避難所にあっては、地元住民の避難者が大半であることから、初期避難者の中から代表者を選び、避難所の運営組織を作ることになっているが、どうなっているのか。</p> <p>③ 指針には「地域住民も参加する訓練を実施すること」となっているが、避難所運営マニュアルに基づく、避難所設営訓練の実施状況はどうか。</p>	

④ 熊本地震では、最大1日1,400名を超える他の自治体職員の派遣を受け入れた。指針における避難所運営等の基本方針には、「被災者のニーズの把握や他の地方公共団体等からの応援及びボランティア等の応援団体の派遣調整等をする「避難所支援班」を組織し、避難所運営を的確に実施することが望ましい」とあるが、本市では避難所支援班はどのように組織され、災害発生時にはどのような動きとなるのか。

⑤ 今夏、台風10号で被災した岩泉町では避難所運営マニュアルが整備されていたにもかかわらず、役場職員が初動期の避難所運営に多数携わった。このことは円滑な災害対応に影響を及ぼしかねないことであり、本市においても、災害発生時の職員の動きを再度点検し、住民の安全確保を期すべきと考えるがどうか。

## 2 総合防災訓練について

先日(12月4日)実施した総合防災訓練は、計画に照らしどのような結果であったか。また、今後に向けた課題等は抽出されたのか。

質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	バリアフリー化の推進について
質疑・質問の要旨	
<p>本市のバリアフリー化の取組について、本年第2回（3月）定例会において質問し、その際、近鉄生駒線4駅の段差解消について、各駅の具体的な整備完了目標年次（菜畑駅、南生駒駅は平成29年、30年、一分駅は31年、東山駅は31年、32年）が明らかとなった。</p> <p>国が方針として示す、平成32年度中の整備完了に向けて、鋭意取組を進められていることと推察するが、現在、事業者、国、県及び平群町との協議の進捗状況はどうなっているのか。</p>	

質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

吉波伸治



## 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日 午前9時30分 受領
---------------------------

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u> )・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	生駒市の学校・教育にかかる課題について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑・質問事項
1	生駒市の学校・教育にかかる課題について
質疑・質問の要旨	
<p>このところ、以前にもまして、学校・教育にかかる報道が多くなされています。それを踏まえ、生駒の学校・教育においても今大切なことと思われる課題について、下記のように質問いたします。</p>	
記	
<p>(1) 東北大震災時における大川小学校事故を検証する第三者委員会である「大川小学校事故検証委員会」が設置された際、「市や県の教委と結びつきの深い人物は入れないで欲しい」「遺族も検証に加わりたい」などの児童遺族の要望は聞き入れられませんでした。また、委員会は、設置要綱に「目的」が無く、「だれのために何を検証するのか」も不明確で、当初から法律上・行政上の責任追及はしないという前提でスタートしました。そして、その最終報告は真実を明らかにしていないとして、児童遺族は2014年3月10日に提訴し、この10月26日、仙台地裁は学校側の過失を認定し23人の児童遺族に計約14億円の支払いを石巻市と宮城県に命じました。</p>	
<p>本市でも、第三者委員会である「市内中学生熱中症事故調査委員会」が設置され、第1回委員会が11月15日に開催されていますが、この委員会について次の2点お伺いいたします。</p>	
<p>①委員構成や目的等について遺族の同意を得ていますか。  ②これまでの各自自治体での学校事件・事故に関する調査や検証を行なう委員会には、「大川小学校事故検証委員会」のように十分には機能しなかったものもあります。「市内中学生熱中症事故調査委員会」を十分に機能させるためにどのようなことに留意されるおつもりですか。</p>	
<p>(2) 学校図書館について、次の2点お伺いいたします。</p>	
<p>①11月3日の毎日新聞によれば、同新聞が学校図書館協議会の協力を得て実施した「学校図書調査」で、学校図書館で働いている先生にどんなことをしてもらいたいかを尋ねたところ、小学生は「本がある場所を案内してくれる」が53%と最多で、「安心できる場を作ってくれる」は46%で2位でした。しかし、中学生になると、「安心できる場」が45%でトップになり、42%の「案内」を逆転したとのこと。</p>	
<p>このように、学校図書館を「安心できる場所」にしてほしいという児童生徒の要望が高まっているところから本市でも、学校図書館の役割に「安心できる場所」を加えるべきだと考えますが、いかがですか。</p>	
<p>なお、滋賀県東近江市立図書館が10年程前から「自殺したくなったら図書館に行こう」との呼びかけを行なって以来、公立図書館を「安心できる場所」にする動きが広まって来ており、昨年8月末には鎌倉市図書館が次のような呼びかけを児童生徒におこなったことが報道され話題となりました。すなわち、「もうすぐ二学期。学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいらっしやい。マンガもライトノベルもあるよ。一日いても誰も何も言わないよ。9月から学校へ行くくらいなら死んじゃおうと思ったら、逃げ場所に図書館も思い出してね。」</p>	
<p>今回の毎日新聞の「学校図書調査」の結果は、このような流れ・動きと符合しています。</p>	
<p>②文科省が実施した「平成28年度 学校図書館の現状に関する調査」によれば、本市の小学校全12校のうち、学校図書館図書標準、つまり整備すべき蔵書の標準を達成しているのは5校のみで、中学校では、全8校のうち、それを達成しているのは2校でしかありません。すべての学校で、図書館活用を活発にしつつ図書館図書標準を達成すべきと考えますが、いかがですか。</p>	
<p>(3) 「通級指導の制度拡充」を求める声が高まり、全国的な署名活動が行なわれて11月11日に3万人分の署名が文科省に提出され、同17日には日本発達障害ネットワークなど四団体も同省に緊急アピールを提出していますが、本市における通級指導の現状と課題についてお教えてください。</p>	
<p>(4) 早くも09(H21)年2月23日に朝日新聞が、英語教育を先行実施した小学校ではどんどん英語嫌いが増えていると報じ、科学的な外国語教育の確立をめざして活動を行っている小学校から大学までの外国語の教員からなる全国組織である新英語教育研究会が14(H26)年8月13日に、小学校英語の実施学年の低学年化と正規教科化は、小学生の知的発達に負の影響を及ぼすと考えられるので撤回していただきたいとの要望書を文科省に提出するなど英語を小学校で教えることについては様々な弊害をもたらすとの指摘がなされてきたにもかかわらず、英語教育の小学校への導入は推進され、ついに次期学習指導要領の改定に伴い、20(H32)年度に英語が小学校高学年で正式教科になることが決定されました。これについては、この9月17日の毎日新聞が、高学年を担当する小学校教員100人にアンケートしたところ、半数近くが、教員も児童も負担ばかりが増えるなどとして反対している、と報じています。そこでお聞きいたします。</p>	
<p>小学校高学年で英語を正式教科として実施することでどのような課題があるとお考えですか。また、それに対してどのような対処をしようとお考えでしょうか。</p>	

平成 28 年 11 月 28 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

竹内ひろみ 印 

### 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 28 年 11 月 28 日  
午前 10 時 43 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	南地域のまちづくりについて
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	南地域のまちづくりについて
質疑・質問の要旨	
<p>私は生駒市に移り住んで30年余りになりますが、南生駒駅周辺の道路、橋、河川など、一部改善はされたものの、様々な問題が未解決のまま残されており、市民生活に支障を来す状況となっています。これらの問題を踏まえ、南生駒駅周辺の南地域のまちづくりについて質問をします。</p>	
<p>A. 歩道、道路、橋について</p>	
<p>これまで何度も一般質問等で取り上げてきた次のような道路や橋の問題はなかなか解決の道が見えず、市民の皆さんから、いつになったらできるんだと厳しいお声をいただいています。</p>	
<p>① 「波うつ歩道」として名高い、マックスバリューから南都銀行までの歩道は、一刻も早く解決しなければなりません。道路の方に傾斜し、波うつ歩道のすぐ横を車がビュンビュン通りますが、ここで転倒したという話も一つや二つではありません。一つ間違えば大事故になります。車椅子や電動カートも危険で通れません。</p>	
<p>② 乙田橋以南の都市計画道路（小平尾バイパス）も、いつになったらできるのか、全く見通しが見えず、住民の方から、どうなっているの？と厳しく問われています。国道168号線沿いの住宅の方は、「何年かしたらバイパス道路ができるから交通量も減るといわれて住宅を購入したが、20年経っても全然目途が立たない、何十年待たせるのか？」と憤っておられます。また、南の秋津橋が開通してから、大型トラックなども含め交通量が増えて、益々ひどい状況になっています。</p>	
<p>③ 小瀬橋は、狭い車道を大型トラックも通るなど危険な上、併設する歩道橋が狭いため、すれ違うのを避けて車道に出る人が多く危険です。この橋の改修も、随分前から言われていますが、下流に井堰があり、補償交渉が難航しているとの回答でした。（平成26年12月一般質問）</p>	
<p>南生駒駅を中心とした地域は、南コミュニティセンター、大型商業施設、医療機関の集合したメディカルセンター、学校、こども園、銀行などが集中しており、多くの市民が訪れ往来しています。そして、これらを結ぶ道路は、非常に重要なポイントとなっています。市は、このことをしっかり認識して、この</p>	

地域のまちづくり、街の活性化に向けて取り組んでいただきたいと思います。

私は、これらの問題を一般質問等で何度も取り上げ、市として市民の苦難軽減のために尽力していただくようお願いしてきましたが、国道や河川は、県の管理するものであるため、市の関与は限られるとの回答でした。当然、私も日本共産党議員団としても何度も郡山土木事務所に足を運び申し入れをしてきましたが、一部解決された問題はあるものの、大きな進展をみることはできていないのが実情です。

しかし、平成26年12月の私の一般質問に対して、市から次のような趣旨の回答をいただきました。

「こういう県の事業については、市の方としても、県の郡山土木事務所を通じて、事業の進捗につき鋭意努力をしていただきたいということと同時に、当然、地元調整関係については、生駒市の方においても一定そういう努力をさせていただくということで申し入れております・・・」と。

その後2年が経過しましたが、その間、市としてどのような努力をしていただいたか、以下の点について、現在の状況を含め、お聞かせ下さい。

1. マックスバリュー・南都銀行間の歩道の改善について
2. 都市計画道路（小平尾バイパス）について
3. 小瀬橋の改修（架け替え）計画について

B. 最後に、南地域のまちづくりについて、市の方針、考えをお聞かせ下さい。

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成 28 年 11 月 28 日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員  
下村 晴意



### 発言通告書

次のとおり通告します。

平成 28 年 11 月 28 日  
午前 10 時 56 分 受領

発言の種類 (○を付ける)		質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
1	食品ロス削減について	
2	妊婦歯科検診について	
3		
4		
5		

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	食品ロス削減について
質疑・質問の要旨	
<p>発展途上国などで食糧不足、飢餓が深刻な問題となる一方、国内では、まだ食べられる食料が廃棄されてしまう「食品ロス」の解消が大きな課題となっています。</p> <p>国連食糧農業機関（FAO）が2015年5月に公表した調査によると、世界では約9人に1人（約72億人中7億9500万人）が栄養不足に陥っているとしています。特に発展途上国では、栄養不良によって5歳になる前に命を落とす子供が年間500万人もいるという現実があります。世界では、人が生きるのに十分な量の食べ物が生産されていますが、その3分の1は食卓に届く前に腐ったり、無駄に廃棄されています。中でも、もったいないのは、まだ食べられる状態なのに捨てられてしまう「食品ロス」です。</p> <p>国連は、昨年9月に、2030年までに世界全体の一人当たり食品廃棄物を半減させる目標を採択しています。</p> <p>国においても、平成28年3月に策定された「第3次食育推進基本計画」において「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす」ことが目標として位置付けられ、広く国民運動として、「食品ロス」削減に向け取り組んでいくとしています。</p> <p>食品ロスを減らすためには、食育の観点から「食」への感謝と「もったいない」という気持ちを呼び起こすことが重要だと思います。食品ロスを減らすためには、子どもから大人まで、社会全体に食品ロスを減らす機運の醸成を図り実践につなげるべきだと思います。すでに先進的な自治体では、様々な食品ロス対策が行われています。</p> <p>以上のことを踏まえ質問致します。</p> <p>1、学校、保育所などにおける食品ロス削減のための啓発について</p> <p>学校や幼稚園、保育所などにおける学校給食や食育・環境教育を通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきだと思いますが、見解をお伺いいたします。</p>	

## 2、市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けた取組について

家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用の取組をはじめ、飲食店等における「飲食店で残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開など、市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取組が重要だと考えます。現在までの取組と今後の具体的な計画等お伺いいたします。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	妊婦歯科検診について
質疑・質問の要旨	
<p>妊娠中は心と身体がとても大きく変化します。妊娠による身体の変化はお口の中にも現れます。ホルモンのバランスの変化・つわりや食生活のパターンの変化などお母さんの口内の環境を悪くしてしまふことがあります。</p> <p>妊娠中には、歯肉炎や歯周炎の方が比較的多く、妊娠したとたん、出血しやすくなったという人が50%というデータもあります。</p> <p>間食・食事の増加や、つわりなどによって歯みがきが充分に出来ないという理由や妊娠すると唾液が減ってしまうということが理由として考えられます。また、妊娠中は女性ホルモンの増加で歯周病菌が増え活性化します。妊娠中に歯茎の腫れや出血をうったえる妊婦さんが多いとされています。このような症状は妊娠性歯肉炎と呼ばれ妊娠初期から起こり、妊娠中期にピークを迎えます。妊娠中は増加した歯周病菌のせいで、悪化のスピードも速くなります。</p> <p>歯周病に罹っていると心疾患や糖尿病のリスクが高まるなど、全身の疾患との関係が明らかとなっております。歯が早く抜けることで、健康寿命にも影響します。とくに、妊婦が重度の歯周病に罹ると、低体重児出産や早産のリスクが高くなることが報告されており、妊婦歯科検診の公費助成を実施すべきだと考えますが、見解を伺います。</p>	

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷 尚 敬 殿

生駒市議会議員

伊 木 まり子 

### 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日  
午前11時45分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答</u> 方式) ・ 緊急質問	
番号	質疑・質問事項	(要旨は別紙参照)
1	災害時の医療救護体制の整備について	
2	子どもたちの登下校時の安全の確保について	
3		
4		
5		

質疑 ・ 質問事項

1 災害時の医療救護体制の整備について

質疑・質問の要旨

今年4月には熊本地震が発生、先日は東北を中心に震度5弱の地震が起き、津波も確認されました。また、来月17日は6434人が亡くなった阪神・淡路大震災から22年になります。このような中、災害に備え計画し、発災後適切に対応することが今まで以上に行政に求められてきていると感じます。

生駒市では今年3月、生駒市地域防災計画を改定し、4月から新しい計画に基づき運用を始めました。今回、この新しい地域防災計画に基づく災害時の医療救護体制の整備について、主に地震災害を想定し質問します。

- ①医療救護体制の整備の基準となる被災想定はどのようなものでしょうか？
- ②災害時の医療救護体制下での消防本部の活動をどのように想定していますか？
- ③救護所に関して以下を中心にお答えください。
  - ・ 開設の判断と開設の指示
  - ・ 救護所の設置場所、救護所内の配置や動線
  - ・ 医療救護活動について
    - 負傷者に対するトリアージとその後の対応
    - 応急処置
    - 傷病者の後送医療機関への搬送
- ④救護病院・後送病院における医療救護活動をどのように想定していますか？
- ⑤DMAT、TMATなどの応援部隊はどのように活動するのでしょうか？
- ⑥医師や看護師などの医療従事者は十分確保できるのでしょうか？
- ⑦医療救護体制における指揮命令系統はどのようになっているのでしょうか？
- ⑧障がい者・高齢者・妊婦や乳幼児などの災害弱者への対応はどのように計画されているのでしょうか？
- ⑨災害時の医療救護体制に係る市民へ周知についてお考えをお聞かせください。

質疑 ・ 質問事項

2 子どもたちの登下校時の安全の確保について

質疑・質問の要旨

私の下には生駒市のこども安全メールで、10月に4件、11月に2件、不審者の出現や子どもへの声掛けや付きまとい等の情報が届きました。そのたびに、約10年前の奈良市の小学生死亡事件を思い出します。また、下校時、道いっぱいに広がって、車が来ていても気にする風でもなく、ワイワイとしりとりをしたり、じゃんけんをしている子どもたちを見かけます。一方、最近では高齢者ドライバー等による事故の報道を耳にします。

このような背景の中、また、最近では冬至も近く、とりわけ学童保育を利用する子どもたちの下校時刻にはあたりが暗くなってきていることもあり、通学路の安全が気にかかります。そこで、今回は、登下校時の子どもたちの安全の確保について質問します。

①登下校時の子どもたちの安全の確保に対する行政の取組について

- ・こども安全メールで発信された事例について、事案別、地域別、月別、時間帯別などの統計処理は行われているのでしょうか？
- ・こども安全メールで発信された事例についてどのように対処されているのでしょうか？
- ・道路の安全確保や交通事故の防止に対しどのように取り組まれているのでしょうか？
- ・上記のそれぞれの取組に対する市の財政的措置についてもお答えください。

②登下校時の子どもたちの安全の確保のために市民との協働で進めていきたい取組等がありましたらお聞かせください。

平成 28 年 11 月 28 日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

恵比須 幹夫



### 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 28 年 11 月 28 日  
午前 11 時 59 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <input checked="" type="radio"/> 一般質問 (一括質問方式 ・ <input checked="" type="radio"/> 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	市関連施設の廃棄物管理について
2	がん対策について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	市関連施設の廃棄物管理について
質疑・質問の要旨	
<p>市は、平成 22 年 12 月から生駒市環境マネジメントシステムを運用してきました。その中で、廃棄物関連については、市の各施設も市内の一事業所である、との認識のもと発生・排出抑制、再生利用等の対策が進められてきました。</p> <p>これまでの経過を踏まえ以下の点についてお聞きします。</p> <p>◆事業系ごみ指定袋で出される可燃ごみについて</p> <p>(1) 排出量の推移および、それに対しどのような分析・評価をしているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>(2) 廃棄物の発生・排出量について、全市一元化した管理による、より実態に即した数字の把握が必要と考えますが、見解をお聞かせ下さい。</p> <p>◆紙資源の再生利用状況と今後の対策について</p> <p>(1) 市の関連施設で発生する事業系ごみの排出量および近年の推移、紙資源や金属等の再生利用量の推移はどうなっているのか。また、環境配慮の側面から、市としてどのような分析・評価をしているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>(2) 保管期限の過ぎた個人情報等を含む保管期間の終わった文書類は、清掃センターで焼却処理されてきたと認識します。平成 17 年 4 月 1 日に個人情報保護法が全面施行されて以来、情報の保護と再生利用を両立させたリサイクルサービスも多く出現している状況を鑑み、本市の保管期間が終わった文書類についても、全面的に再生利用へ移行する時期に差し掛かっていると考えますが、どのような見解を持たれているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>(3) 家庭系ごみは、ごみ有料化以来ミックスペーパーの収集量が増加しています。市関連施設においてもミックスペーパー（オフィス古紙）の分別・回収を強化すべきと考えるが、見解をお聞かせ下さい。</p>	

◆市関連施設で発生するプラスチック製容器包装について

(1)平成 27 年度の分別状況・排出量および、その分析・評価についてお聞かせ下さい。

(2)市関連施設で発生・排出されたプラスチック製容器包装は、どのような形で再生利用されているのか、お聞かせ下さい。

◆食品廃棄物の排出・再生利用状況と今後の対策について

(1)給食センター、保育園、山麓公園、市役所食堂、市立病院等の施設において発生する食品廃棄物（調理残渣、食べ残し残渣、廃食用油等）の発生量と処分方法、再生利用率について教えて下さい。また、現状の再生利用率をどのように評価しているのか、考えをお聞かせ下さい。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	がん対策について
質疑・質問の要旨	
<p>◆がん検診の受診率について</p> <p>(1)「第2期 健康いこま21」では、がん検診の受診率目標値を平成34年度に30%と掲げられています。平成27年度の結果および平成28年度の進捗と最終的な見込みについてどのように分析・評価されているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>◆精密検査の受診率について</p> <p>(1)11月16日に参議院で可決、衆議院へ送られた「がん対策基本法改正案」では、入口となるがん検診の受診率向上はもとより「がんの疑いがあると判定された者等が必要な診療を受けることの促進」が重要視され、新たな規定が盛り込まれています。平成27年度の結果および平成28年度の進捗（要精密検査件数、受診率）について、どのように分析・評価されているのか、お聞かせ下さい。</p> <p>(2)早期発見・早期治療の推進を目指す上で、精密検査の受診について一層踏み込んだ勧奨等が必要であると考えられます。見解をお聞かせ下さい。</p> <p>◆若年期の胃がん対策について</p> <p>(1)胃がんの主たる原因とされるピロリ菌は、ほとんどが乳幼児期に家族等から感染し、長い時間をかけて胃を荒らし、胃炎や胃がんを引き起こすとされています。</p> <p>ピロリ菌研究の第一人者で北海道医療大学学長の浅香正博氏は、女性や若年層に多い未分化型のスキルス胃がんも「ピロリ菌感染胃炎から生じる」との見解を示されています。また、10歳代に除菌を行えば、生涯にわたり胃がんや胃潰瘍、ポリープ等の病気を予防できるとの考えに立ち、若年期におけるピロリ菌除菌を提案されています。若者の命と健康を守るとの観点から、中学生を対象としたピロリ菌検査、除菌治療を実施することが望ましいと考えます。見解をお聞かせ下さい。</p>	

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

久保 秀徳



## 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日 午後1時15分 受領
---------------------------

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u> )・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	運動部活動のあり方について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	運動部活動のあり方について
質疑・質問の要旨	
<p>運動部活動は、学校教育の一環として教員等の指導の下にスポーツに親しむ生徒の自主的・自発的参加により、運動やスポーツを通じて、心身の健全な発達を促すものです。部員同士が同じ目標に向かって取り組むことで、生徒の自主性や協調性、連帯感などを育成し、豊かな人間関係を築くことができる大切な教育的活動です。</p> <p>しかし、教員にとっては教育課程外の活動であり、本来の教科をもちながら部活動の指導にあたることとなります。ともすれば部活動が勝ち負けだけに特化し、過熱化する部活動への長時間におよぶ指導が大きな負担になってきている実態も聞かれます。</p> <p>同時に生徒にとっても、行き過ぎた活動量が疲労を蓄積させ、心身の疲労を翌日に持ち越す等、学校生活にさまざまな支障を与えることとなります。生徒のバランスのとれた生活と健全な成長を阻害することにもつながります。</p> <p>以上の問題点を踏まえて、次に質問します。</p> <p>一、 市内中学校の部活動中の事故事例や、暴力行為やいじめ等のトラブル等による問題事例は、どのように把握しているのか。また、最近5年間の事例数の増減はどのように推移しているのか。</p> <p>二、 教員の部活動に関わる勤務実態をどのように把握しているか。</p> <p>三、 教員のゆとりある適正な部活動への取り組みが、生徒にとって学校生活をより豊かなものにすると考えます。部活動が加重的な負担にならないよう、どのような業務改善の取り組みをしていますか。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

塩見 牧子



## 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日 午後1時50分 受領
---------------------------

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <input checked="" type="radio"/> 一般質問 (一括質問方式・ <input checked="" type="radio"/> 問一答方式)・緊急質問	
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
1	生駒山麓公園の指定管理業務等について	
2		
3		
4		
5		

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑・質問事項
1	生駒山麓公園の指定管理業務等について
質疑・質問の要旨	
<p>1. 生駒山麓公園の指定管理業務については、その自主事業において、加工食品の製造とその公園外への出荷、それらの事業報告書への不記載、生活介護サービス事業所指定の届出と運営実態の不一致、収支報告の不明など、議会や委員会において数々の問題が指摘されてきたところであるが、これらの問題を市はどのように受け止め、その問題発生の原因、責任の所在についてどう考えているのか。</p> <p>2. 9月定例会一般質問について生駒事業所における就労支援状況（利用人数、利用時間、支援員数）を質問した折、利用時間については日数に置き換えられて回答されたが、奈良県が社会福祉法人青葉仁会に対して6月28日に行った業務管理体制確認検査においてポラーノ広場の作業時間数は法人から提出されており、デリカテッセンイーハトーブの事業所の作業時間を出すことも可能なはずである。再度、両事業所の従たる事業所それぞれの作業時間を問う。</p> <p>3. 生活介護サービスについては、サービスの実態に合った届出を行うよう、生駒市から指定管理者の構成団体（社福）青葉仁会に対して是正を求めたとのことであるが、それに対してどのような措置がなされたのか。また、現在は、どのようなプログラムで支援が行われているのか。</p> <p>4. 7月22日の都市建設委員会において、今後のチェック体制として、指定管理者からふれあいセンターレストランにおける食品の販売状況を毎月提出させることであったが、7月以降のピザ及びガッパオの販売状況（公園内・公園外それぞれの販売数・金額）はどうか。</p> <p>5. 平成26年度のふれあいセンターの改修工事についての建築計画概要書（建築確認）は、テラス部分の増築に関してのみ行われているが、障がい者の就労支援の指定を受ける福祉事業所として使用される以上、特殊建築物として用途変更等の確認を取る必要があるのではないかと。民間建築物の福祉事業所への改修工事において同様に不要とされるような事例はあるのか。生駒市が不要と判断した根拠を問う。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷尚敬 殿

生駒市議会議員

樋口清士



### 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日  
午後1時57分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u> )・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	生駒市における都市構造の見直しについて
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	生駒市における都市構造の見直しについて
質疑・質問の要旨	
<p>平成 26 年 7 月に「国土のグランドデザイン 2050」が公表され、キーワードとして「コンパクト＋ネットワーク」が打ち出された。これを踏まえ平成 27 年 8 月に「国土形成計画（全国計画）」が閣議決定され、計画の中で「都市機能の集約化、公共交通ネットワークの再構築によりコンパクトシティを形成する」ことが方向づけられた。</p> <p>また、平成 26 年 2 月に「都市再生特別措置法」が改正、同年 5 月には「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正されるなど、近年、コンパクトシティの形成に向けた法律や制度の整備が進められてきた。</p> <p>本市においては、平成 23 年 3 月に「生駒市都市計画マスタープラン」を策定し、目標の一つとして「誰もが移動しやすいコンパクトなまちづくり」を掲げた。併せて、「生駒市地域公共交通総合連携計画」を策定し、コミュニティバスの運行を中心とした公共交通サービスの充実に向けた方針を示した。</p> <p>また、平成 27 年 1 月に「生駒市環境モデル都市アクションプラン」を策定し、「都市構造の再設計」、「コミュニティ交通システムの再構築」を柱として施策メニューを示し、現在その取組が進められている。</p> <p>今後、人口減少、高齢化が進む中、医療・福祉・商業等の生活機能や公共交通なども含めた都市全体の構造を見直すことが求められており、また、そのため都市政策、交通政策等、政策分野を越えて一体的に取り組むことが必要となっている。</p> <p>上記を踏まえ、生駒市における都市構造の見直しに関して以下に質問する。</p> <p>①コンパクトなまちづくり、公共交通サービスの充実について、現在、どのような取組を進めているのか。</p> <p>②国における計画の策定、法律や制度の整備を踏まえ、生駒市において今後どのような取組を進める予定か。</p> <p>③都市構造の見直しについて、生駒市としてどのような考え、方針を持っているのか。</p> <p>④都市政策、交通政策等の一体的な取組の必要性について、生駒市としてどのような認識を持っているのか。また、その認識に基づきどのような取組を行っているのか。</p>	

平成 28 年 11 月 28 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

改正 大祐



## 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 28 年 11 月 26 日  
午後 2 時 50 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>問一答方式</u> )・緊急質問	
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
1	生駒市の歳入確保の取組について	
2		
3		
4		
5		

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	生駒市の歳入確保の取組について
質疑・質問の要旨	
<p>平成27年度に実施された国勢調査によれば、総人口は1億2709万5千人となり、5年前の前回調査に比べて約96万3千人減少しました。国勢調査は約100年前に始まり、人口減少は調査以来初めてのことです。また生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の減少も危惧されており、2000年代以降減少の局面に入ったとされています。生駒市の生産年齢人口も2000年を境に減少しており、これらは市の税収減をもたらすと考えられます。そのため色々な策を講じ、歳入を確保する必要があります。2016年3月定例会において市長は市民税・固定資産税の市税に加え、ふるさと納税の更なる活用や産業振興等による歳入確保をしっかりと取り組んで参りますと述べられました。まさに私も共感するところであり、今回市民税・固定資産税、ふるさと生駒応援寄付制度（以下ふるさと納税）等の歳入確保の取組について質問致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, ふるさと納税の更なる活用としてどのような取組を実施したのか。また、現時点の成果はどのようなものか。</li> <li>2, 法人市民税・償却資産プロジェクトチームを設置し、税収確保に取り組んでいるとのことだが、具体的な取組内容はどのようなものか。また、これまでの成果をどのように評価しているのか。</li> <li>3, 歳入確保のためには現役世代、特に子育て世代の定住が重要と考えるが、市外の子育て世代が持っている生駒市に対する評価や、イメージを把握しているのか。また、市外の子育て世代を生駒市に呼び込み、定住につなげていくような取組はおこなっているのか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

浜田 佳資 (印)

### 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日  
午後2時55分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u> )・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	高齢者施策の進め方について
2	家庭からの紙おむつごみについて
3	スズメバチの駆除に対する市の補助等について
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	高齢者施策の進め方について
質疑・質問の要旨	
<p>高齢者施策については、この間、超高齢社会に対応するとして高齢者施策を見直すとして、その中で生きいきカードの事実上の廃止を意味する方針を出し反発と不信感が生じることがあった。これには、唐突感と実施時期に関する不安、1回のタウンミーティングで市民の声を聞いたことにするアリバイ感がその背景にあった。施策をより良いものとし進めていくためには、市民の信頼感が必要であるが、進め方においてその点での大きな問題があったと言わざるを得ないことはこれまでも指摘した通りである。その一方で、7月末から10月初旬にかけて、高齢者福祉施策に関するワークショップが4回行われ、回を重ねるごとに議論も深まり、参加者相互の交流も生まれたように感じた取組も行っている。</p> <p>また、RAKU-RAKUはうすに施設利用料を導入したことによる大幅な利用者減が決算でも問題となるなど、どうもうまくいっていないのが見受けられる。導入時の検討が十分だったのか、当面どうするのが問題となる。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 12月に高齢者施策についてのタウンミーティングを実施するが、特に生きいきカードについてはどうするのか。</li> <li>2. 高齢者福祉施策に関するワークショップが議論の深化と参加者相互の交流ができたのは、開催が単発でなかったからではないかと考えられるがその点どうか。</li> <li>3. 上記ワークショップの経験も踏まえ、高齢者施策についてのタウンミーティングを、12月以降重ねて実施していく方が良いと考えるがどうか。</li> <li>4. RAKU-RAKUはうすへの利用料導入時に、施設設置の目的からどのような検討がなされたのか。利用者減はどこまで想定し、良しとした理由は何か。</li> <li>5. RAKU-RAKUはうすの利用状況の評価、とりわけ回数券効果についての分析と利用者数増加の対策は何を考えているのか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	家庭からの紙おむつごみについて
質疑・質問の要旨	
<p>紙おむつのごみは、無料となったが透明・半透明の袋で出さなければならず、紙おむつを使用していることをご近所に知られたくないとの思いから、有料の指定袋で出している高齢者の方がおられます。</p> <p>希望される高齢者世帯に、指定袋を一定数無料で配布する方法について、昨年の12月議会で質問し、「ごみ減量に向けてのを聞く機会を設けるので、その中で紙おむつの処理方法についても意見を聞きたい」という旨の答弁がありました。当然意見を聞いただけでは終わらず、市として具体的に検討することによって繋がっていくわけで、次の点について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この1年間で市民の声を聞くためにどのような場を設け、どのようなことを行いましたか。</li> <li>2. 市民からどのような意見が出ましたか。</li> <li>3. それを受けて、市としてどのような検討をしてきましたか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
3	スズメバチの駆除に対する市の補助等について
質疑・質問の要旨	
<p>スズメバチの被害については、報道されているように、ときには人の生命にもかかわる危険なものであります。自分の所有地にスズメバチの巣が確認されれば、所有者の責任で除去するものとされています。その危険性からかつてのように市職員が行うのは相当でなく、駆除の専門業者が行うのが妥当と言えるものです。ただ、通常の所有者責任と異なり、スズメバチの巣が自らの所有地内にあることにどこまで責任を問えるのか、という問題もあります。</p> <p>さて、市では有害獣被害防止事業については市から補助金等が交付されることとなっています。農作物の被害防止、農作物の品質向上と安定的な生産の確保という点から、実に必要な事であります。</p> <p>それであるなら、上記のような危険性、それはその周囲の不特定多数の市民に対する危険でもあり、かつ本来の所有者責任と異なる側面もあることから、有害獣被害防止事業に準ずるような対策が必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成28年11月28日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

山田 耕三



## 発言通告書

次のとおり通告します。

平成28年11月28日  
午後2時58分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u> )・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	障がい・グレーゾーンにある子どもたちへの支援について
2	学校内での暑さ対策について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	障がい・グレーゾーンにある子どもたちへの支援について
質疑・質問の要旨	
<p>文部科学省が平成24年に実施した調査では、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、高機能自閉症等、学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒数について、約6.5パーセント程度の割合で通常の学級に在籍している可能性があるとの結果が出ております。</p> <p>平成25年に成立した「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」において文部科学省は対応指針を発表しており、「障害者手帳の有無にかかわらず、障害の状態に応じて必要かつ合理的な配慮をするように努めなければならないこと」とあります。</p> <p>生駒市においては、障がいの早期発見に努めるための「幼児集団検診」や幼児期の療育など様々な取組がなされております。</p> <p>市長マニフェストにある「子育て教育のまち生駒」「生駒山麓公園等での障がい者就労の拡大」において、このような子どもたちの将来の就労にむけての流れが今一つ見えておりません。</p> <p>そこで、以下の質問を致します。</p>	
記	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校入学時での発達障がいやその可能性のある児童の把握はなされていますか。</li> <li>2. 小学校・中学校において、発達障がいやその可能性のある児童生徒数を教えて下さい。</li> <li>3. 平成28年6月定例会で教育振興部より特別支援や発達障がいにむけての取組として「本市独自の個別指導計画」との発言がありましたが対象者と具体的な内容を教えて下さい。</li> <li>4. 発達障がいのある、又は可能性のある子の就学前から小学校、小学校から中学校への情報の伝達はどのようにされていますか。市内だけでなく養護学校なども含めて教えて下さい。</li> <li>5. また、地域の障害児通所支援や福祉施設（就労支援など）との情報の伝達はどのようになっていますか。</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	学校内での暑さ対策について
質疑・質問の要旨	
<p>近年、夏の気温の上昇により様々な弊害がもたらされております。本年8月に発生した熱中症死亡事故という悲しい出来事も発生しました。本市ではクラブ活動への健康チェックシートや熱中症指標計を導入、研修することで再発の防止に努めています。</p> <p>ただ、熱中症は屋外だけではなく屋内でも、湿度や体調変化、水分補給の状態、健康状態等により発症することがあり、必ずしも気温が高い状態ではなくても発症する可能性は否めません。</p> <p>この生駒市においても、ここ数年30度を超える日が夏の期間続いております。また35度を超える日もあり、特に体力のないこども達には学習などにも支障をきたしたりしております。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市内幼稚園、保育園を含め本年小中学校の屋外での学習で、熱中症やそれに近い状態が発生しましたでしょうか。あれば、教えてください。</li> <li>2. 夏の屋内の学習中について暑さ対策はどのようになされておりましたか。</li> <li>3. 市長マニフェストには、「県の動きと連動した速やかなエアコン設置の検討」とありますが、進捗状況はどうなっていますか。</li> <li>4. 特に体力のない幼児が通う幼保育園ではエアコンの設置状況はどのようになっていますか。（公立、私立共に）</li> </ol>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成 28年 11月 28日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

沢田 かおる 印

## 発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 28年 11月 28日  
午後 2時 59分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ) ・ 緊急質問	
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
1	人に優しい生駒の施策について	
2		
3		
4		
5		

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	人に優しい生駒の施策について
質疑・質問の要旨	
<p>1 1月19日に生駒市議会と若者との市民懇談会が開催されました。参加者は成人式運営実行委員会と運営委員会OBOGで構成されるアイデアのメンバーが来てくださいました。</p> <p>「若者にとって魅力あるまちづくり」のテーマで意見交換会をしました。</p> <p>19歳から20代の若い方の意見では、自分たちの経験からの要望、自分たちの祖父母世代の困っていること、将来両親におこる老後の問題それにとりまなう解決策の提案などを話してくださり、生駒の未来は明るいと感じた貴重な懇談会でした。</p> <p>その中で特に気になったことは、自習室がいっぱいで勉強する場所がないということでした。以前市民の方から連絡があり、図書館の自習室に入れない子ども達が2階の椅子を机代わりにし床に座り込んで勉強していて可哀想だとの連絡を受け現状を聞きに行ったことを思い出しました。市民懇談会で戴いた意見も一部含め、住む人にやさしい生駒の施策として、子ども、高齢者、女性を支える仕組みについてお聞きします。</p> <p>(1) 子どもたちが自習できる環境の整備が必要だと考えますが、自習が可能な場所は十分とれているとお考えでしょうか。放課後に学校の一室を自習室として開放するなどの取組は行われていますでしょうか。また、学校外で、常設の自習可能なスペースは図書館だけのようですが、他の施設にも常設の自習可能なスペースを増やすお考えはないのでしょうか。</p> <p>(2) 最近では、高齢者ドライバーの運転事故が問題となっていますが、高齢者の方から、将来的に免許の返納を考えているが、病院の送迎や買い物に困るとのお話を聞きました。高齢者ドライバーの免許返納について、返納の際の特典や、ドライバーの方が認知症である場合の支援など、現状の取組と今後の取組の方向性についてお聞かせください。</p> <p>(3) 2016年10月4日付けで「マタニティコンシェルジュ」が妊娠・</p>	

出産に寄り添います子育てコンシェルジュについて市のHPにアップされていきました。生駒市では、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を目指し、身近な相談先として“マタニティコンシェルジュ”を設置しています。

助産師・保健師などの専門職が母子手帳交付時に全ての妊婦さんと面接し、心配ごとの相談やケアプランの案内を行います。また、ニーズに応じてサポート事業を紹介したり、担当部署や専門機関へつなぐなど、連携しながら安心・安全な出産、子育てへとつながるようお手伝いします。

予期しない妊娠など母子手帳交付前の方もご相談くださいと書かれています。

また、8月29日の読売新聞の記事では、「虐待予防 産院に専門家 望まぬ妊娠 相談役 厚労省モデル事業」の記事が掲載されていました。記事を抜粋すると、「乳児の虐待死を防ごうと、厚生労働省は来年度、望まない妊娠に悩む女性を支援するため産科医療機関などに児童福祉司らを配置するモデル事業に乗り出すことを決めた。貧困や未婚などで悩む妊産婦の相談に乗り、出産後の生活をサポートすることで虐待予防につなげるのが狙い。まずは全国10か所で事業を始め、検証したうえで全国に広げたい考えだ。」と記載されていました。

この事例のように、本市でも、産科医療機関での人員配置など、体制の拡充に向けた取組はお考えでしょうか。

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。